※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T0315 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | （学）中級の数学 | 単位数 | １単位 | 年次 | １～４ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 自作教材 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| 基礎から段階的により高いレベルに到達できるように個に応じた学習指導を行います。 |

2　学習の到達目標

| |
|---|
| （知識及び技能）事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現処理したりする技能を身につける。<br>（思考力,判断力,表現力等）数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。<br>（学びに向かう力, 人間性等）数学的活動の楽しさや、数学の良さを実感して粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 |

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c: 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 2 次関数，図形と計量及び集合と命題などの数学Ⅰの内容において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 | 2 次関数，図形と計量及び集合と命題などの数学Ⅰの内容において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 | 2 次関数，図形と計量及び集合と命題などの数学Ⅰの内容の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 2次関数とグラフ | ・関数<br>・1次関数のグラフ<br>・２次関数のグラフ | a:・代入法を用いて関数の値を求めることができる。<br>・求めた座標を座標平面に表すことができる<br>b:・放物線の軸や頂点の場所を理解し、求めることができる。<br>・与えられた一次関数と二次関数のグラフを書き表すことができる<br>c:・グラフの概形を理解し、与えられたグラフがなぜその形になるのか説明することができる。<br>・１次関数や２次関数を日常の事象にあてはめ、課題解決に活用しようとしている。 | ・小テスト | ・課題プリント<br>・小テスト | ・課題プリント |
| 2学期 | 図形と計量 | ・三角比の相互関係<br>・鈍角の三角比<br>・三角形の面積 | a:・三角形の面積を,三角比を用いて求めることができる<br>・$\sin^2 A+\cos^2 A=1$ を用いて sinA や cosA の値を求めることができる。<br>・$\sin A=\cos(90^\circ-A)$ などの公式を利用することができる。<br>b:・$\sin^2 A+\cos^2 A=1$ を三平方の定理としてとらえることができる。<br>・三角形の面積の公式 a・b・sinA がなぜ成り立つかを説明することができる。<br>・三角比の相互関係を利用して,1つの値から残りの値が求められる。<br>c:・様々な三角形の面積を,三角比を用いて求めようとする。<br>・三角比を用いて辺の長さを求めることの良さを理解し、日常の場面で活用しようとする。 | ・小テスト | ・課題プリント<br>・小テスト | ・課題プリント |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３学期 | 集合と命題 | ・集合<br>・命題と集合 | a: ・共通部分，和集合，空集合，部分集合，全体集合，補集合について理解している。<br>・命題を表す記号を理解し，命題の真偽を考察することができる。<br>b: ・条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。<br>・命題の真偽を，集合の包含関係に結びつけてとらえることができる。<br>・反例の意味を理解し，命題が偽であることを示すには反例を 1 つあげればよいことが理解できている。<br>c:・集合を利用した表現について，興味・関心をもつ。<br>・積極的にベン図を活用して集合を考えようとしている。 | ・小テスト | ・課題プリント<br>・小テスト | ・課題プリント |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c: 主体的に学習に取り組む態度